

# No. 1506

## 田中派結束？

— 二階堂パーティー —

田中元首相が脳こうそくで倒れてから4ヶ月。自宅でのリハビリテーションにはげみ政界復帰を目指す毎日とか。一方、田中元首相の長期不在でゆるみがちな田中派のタガを締め直おそうと自民党田中派木曜クラブ会長二階堂進君を語る会が6月20日都内のホテルで開られました。岸元首相、稲山経団連会長、外国外交団を代表してマンسفールド駐日大使など長老の激励が続きました。田中派120人の議員をバックにして二階堂会長は「田中元首相を中心とした木曜クラブが一致団結して政治の責任にこたえていかなければならない」と冷静にあいさつ。ゴタゴタの続く田中派が表向きにせよ久しぶりに結束力を誇示したパーティーでした。

## よみがえる明治

— 長野・馬籠 —

長野県木曾郡山口村にある馬籠宿。

中山道11宿の一つで街道筋は家並保存に指定され昔の面影を今に伝えています。

この馬籠宿に、明治初期の郵便配達夫が登場、観光客の人気を集めています。

配達夫は、宿内に住む農業、土屋歳武さん。79歳で出で立ちは腹掛けにハッピー。足にはワラジ、頭には、菅のまんじゅう笠をかぶり、手紙入れは「御用」「郵便」と書いた箱を持って配達しています。

この配達夫、昨年9月、宿内の郵便局が<sup>カミツカ</sup>神坂から馬籠に改称したのを記念して始めたのが好評で今年も春の訪ずれを待って再開、11月末まで続けられます。こうして馬籠はいまよみがえった明治を観光にとり入れて観光客との交流を深めています。